

事業番号	13 01 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	水道事業（末端給水事業）	部局	企業局	課・室	水道事業課			
		実施期間	S38 ~	E-mail	kigyo @ pref.nagano.lg.jp			

1 現状と課題

- ・人口減少に伴う水需要の減少（給水人口 41%減 有収水量 34%減（2020年/2070年））
- ・施設の老朽化、(管路の経年化率 8.9%)、人材不足
- ・将来にわたり安全・安心な水道水を安定して供給する持続可能な経営体制の確立に向けた、未来への計画的な投資、人材の確保・育成、広域連携の強化が必要

2 事業目的

- ・お客様に安心・安全な水道水を安定的に届けるため、アセットマネジメントを活用して施設設備の計画的な更新等を実施
- ・近年頻発する大規模災害等に対応するため、基幹管路の耐震化を実施するとともに、災害発生時における広域的連携を強化
- ・安全で安心な水道水を安定して供給する「持続可能な経営体制」の構築に向け、経営基盤を強化

3 事業目的を達成するための取組

- ① 未来への投資
- ・施設設備の老朽化対策・耐震化の計画的な推進
- ② 先端技術の大胆な活用・リスクマネジメント
- ・AI技術を活用した管路劣化予測を実施
 - ・施設設備の老朽化対策・耐震化の計画的な推進（再掲）
 - ・「安心の蛇口」の整備（2か所）
 - ・危機管理体制の整備（防災訓練の実施、受援体制整備等）
- ③ 地域への貢献・地域との連携
- ・上田長野地域における関係市町との広域化等の取組の推進
 - ・小規模市町村職員の技術力向上や広域化に向けた連携機運の醸成
 - ・配管、漏水修繕、漏水探知等の技術研修のための簡易設備を整備

4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①-1	老朽管残存率	%	0.0	0.0	→	0.6	↘	0.0	未達成	アセットマネジメントによる計画的更新。長寿命化工事の実施により、老朽管を生じさせない。	
①-2	基幹管路の耐震適合率	%	97.1	97.9	↗	98.4	↗	100.0	未達成	近年、頻発する大規模地震を踏まえ、基幹管路（送水管及び口径200mm以上の配水管）の耐震化を行う。	
①-3	塩化ビニル管等の解消率	%	31.5	35.3	↗	53.2	↗	48.2	達成	配水管において、漏水の主な原因となっている塩化ビニル管等（解消すべき延長20.6km）の布設替を行う。	
②	「安心の蛇口」の整備数（累計）	基	14	15	↗	17	↗	19	未達成	重要給水施設（全43か所）のうち、避難所となる学校等の施設（20か所）に「安心の蛇口」を整備する。	
③	指標なし										

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (☆印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
1-3①	社会的なインフラの維持・発展	水道の広域連携を実施する圏域数	圏域	2022 (R4)	0	2023 (R5)	0	2024 (R6)	0	2027 (R9)	9

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	840,496	7,795,315	153,980	8,789,791	0	7,651,975	46.0
R5年度	767,729	7,782,549	△ 17,643	8,532,635	0	7,254,062	45.0
R4年度	872,982	7,922,401	45,135	8,840,518	0	7,565,068	43.0

事業番号	13 01 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	水道事業（末端給水事業）	部局	企業局	課・室	水道事業課

7 主な取組実績と成果

<p>① 未来への投資</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新田1工区 送水管布設替工事他 基幹管路耐震化更新延長1.5km ・更北地区 大塚1工区配水管布設替工事他 塩化ビニル管更新延長3.7km ・四ツ屋浄水場 豪雨（浸水）対策工事 防水壁設置 14.1m <p>② 先端技術の大胆な活用・リスクマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の避難所等における応急給水拠点「安心の蛇口」を新たに2箇所整備 植生中学校（千曲市） 相染閣（上田市） 計2箇所 ・AI技術を活用した管路劣化予測を実施 <p>③ 地域への貢献・地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「上田長野地域水道事業広域化協議会」の設置及び協議会の開催（計4回） ・水道事業実務研修会の開催（計6回） ・漏水調査機器の貸出（1町1村1企業団）による市町村支援 ・技術研修のための簡易研修施設の整備 	<p>管路耐震化工事</p>  <p>安心の蛇口</p>  <p>上田長野地域水道事業広域化協議会</p> 
---	--

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①-1	老朽管残存率	R5年度推移	→	R6年度推移	↘	達成状況	未達成
経営戦略の投資総額における事業費の調整、資材価格等の高騰による施工量の縮小、優先工事である申込工事件数の増加等のため、目標値に届かなかった。経営状況への影響を考慮した上で、計画的に更新を行っていく。							
指標 ①-2	基幹管路の耐震適合率	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	未達成
経営戦略の投資総額における事業費の調整、資材価格等の高騰による施工量の縮小、優先工事である申込工事件数の増加等のため、目標値に届かなかった。経営状況への影響を考慮した上で、計画的に更新を行っていく。							
指標 ①-3	塩化ビニル管等の解消率	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	達成
計画的な更新により目標を達成した。							
指標 ②	「安心の蛇口」の整備数（累計）	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	未達成
設置場所及び施工期間の調整に時間を要し、事業を繰り越したため目標値に届かなかった。戦略期間内に目標を達成できるよう整備を進めていく。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題
経営戦略策定時と比べ、資材・人件費が高騰しており、工事にかかるコストが増大し、経営を圧迫している。
・安定的な水道水の供給が行えるよう、老朽化対策、耐震化工事等の実施に当たっては、整備の優先順位付け、投資額の平準化に配慮し、経費縮小や更新計画の見直しを図る。
・広域化協議会において、地域と連携した広域化の検討をより詳細に行っていく。

事業番号	13 01 02	細事業一覧（令和6年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	水道事業（末端給水事業）		部局	企業局	課・室	水道事業課

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	水道事業（末端給水事業）		7,565,068 千円	7,254,062 千円	7,651,975 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	施設設備の老朽化対策等の加速	直接委託	安心・安全な水道水を安定的に届けるため、施設設備の老朽化対策、耐震化を計画的に推進 塩化ビニル管布設替 L（延長）=3.7km		
2	リスクマネジメントの推進	直接委託	大規模災害等に備えた応急給水施設「安心の蛇口」及び危機管理体制の整備（防災訓練の実施、受援体制整備等） 「安心の蛇口」の整備 2か所		
3	水道事業の広域化等の推進	直接委託	<ul style="list-style-type: none"> 上田長野地域における関係市町との広域化等の取組の推進 配管、漏水修繕、漏水探知等の技術研修のための簡易設備の整備により、小規模市町村職員の技術力向上や広域化に向けた連携機運を醸成 上田長野地域水道事業広域化に係る協議 4回、簡易研修施設整備 1か所		